

# まさゆき新聞

M A S A Y U K I S H I N B U N

編集・発行：まさゆき倶楽部事務局

まさゆき倶楽部事務局 東興華空間 目黒区柿の木坂3-3-1 TEL03-3414-7562 FAX03-3410-5130

その間に、さまざまな経験を積み、いろんな教え方があるし、いろんな悩みを抱えているバイオリストがいるんだなということがよくわかったんです。そこで、私なりにバイオリストたちの役に立てればと、セミナーの場所を探していたら、白馬という候補があが

「私もイギリスに住んでもう24年。その間に、さまざまな経験を積み、いろんな教え方があるし、いろんな悩みを抱えているバイオリストがいるんだなということがよくわかったんです。そこで、私なりにバイオリストたちの役に立てればと、セミナーの場所を探していたら、白馬という候補があが

夏、世界的バイオリスト・木野雅之氏によるマスタークラスとコンサートが行われた。

音楽の秋、皆様いかがお過ごしですか。日頃の忙しさからか、しばらく体調を崩していましたが、ようやく元気になって参りました。この季節には新しいCDの録音も多く、集中して音楽をするには充実したとても楽しい時間で、大変ながらも幸せを感じる日々です。是非リリースされるのをお楽しみに！

## マスタークラス 木野雅之

「あの子大きくなったな」なんて毎年楽しみにしてくれています。自然の中、おいしいものを食べられるのもいい。そうそう、温泉も楽しみの一つ。一日の練習を終えてみんなで温泉につかるのは最高ですよ」と、木野氏も楽しんで語ってくれる。毎日の木野氏の個人レッスンのほか、聖白馬教会での無伴奏バイオリンコンサート、アウゼホール（これがまた素敵なおホールなのだ）での木野氏のリサイタルと、セミナーの締めくくりとして最終日に設けられていた受講生全員によるコンサ

つてきたんです。どうせやるのなら、ふだんと同じような場所ではなく、広々とした景色と豊かな緑を目にしながらかけるのが理想的。気持ちにもゆとりが出てくるし、都会を離れたほうが気持ちも素直にもなれる。ここはうつつの場所でした。そして、あつという間の9年間。私と同じ年の、第2回から毎年参加しているセミプロの方もいます。いくつになっても勉強という姿勢がうれしいですね。今年は、彼が最年長で、一番下は10歳の小学生。中学生、音高校生、音大生、社会人で、みんな年齢の隔たりなくごやかにやっていますよ。リピーターもいますから、地元のレストラの方など、

ト。セミナーは一週間、オプションでアンサンブルクラスもとることができ。なんと贅沢かつ充実のセミナーだろう。受講生の一人、塚田香澄さん（音高2年生）にセミナーの感想を聞くと、「先生は面白い人なんです。怒ったりはしないんです。先生は「世界にいる人」だから憧れていますし、すごく勉強になります。それにここだとヴァイオリンに没頭できるのがうれしい。しかも、人の演奏を聴いて自分に足りない部分を見直せるし、おんなじ曲を弾いてもそれぞれ全然違う弾き方をするじゃないですか、こんな解釈もあるんだと気づいたり。一緒にアンサンブルができる機会もあるし刺激的。なんか面白いですよ。みんなでギヤール騒いだりもするし、昼間は先生にちょっぴりおいしいおやき屋さんに連れてってもらったり、夜は先生の若い頃の体験談をみんなで聞いたり。あそうそう、この間、教会でバッハを弾いたんですけれど、そんな経験めったにできないし、すごく響きがよくて感激しました」と、セミナーでしっかり勉強、白馬の日々をおおいに楽しんでるようです。世界的バイオリストから多くを吸収でき、

木野雅之スケジュール 2005年10月～2006年3月					
ソロ	日時	公演名	場所	共演者	曲目
	10/1(土) 15:00		東京 安養寺		
	10/2(日) 13:30	トリオ ミンストレル 全国ツアー	東京 カザルスホール	北住淳(ピアノ)	ラロ トリオ第1番他
	10/8(土) 19:00		三重 第一楽器四日市店ムジカホール	小川剛一郎(チェロ)	
	10/10(月) 17:00		大阪 ザ・フェニックスホール		
	10/14(金) 18:30	日フィル杉並秋のコンサート	東京 なかのZERO	オッコ・カム(指揮)	シベリウス トゥオネラの白鳥他
	10/15(土) 18:00	日フィル第211回横浜定期	神奈川 横浜みなとみらいホール	児玉桃(ピアノ)	グリーク 協奏曲他
	10/20(木) 19:00	日フィル第574回定期	東京 サントリー・ホール	竹澤恭子(ヴァイオリン)他	シベリウス 鶴のいる風景他
	10/21(金) 19:00				
	10/25(火) 18:30	リサイタル	北海道 北見芸文ホール	渋谷香帆(ピアノ)	ブーランク ガルシア ロルカの思い出他
	10/28(金) 18:00	トリオミンストレル	三重 鈴鹿	小川剛一郎(チェロ)他	ブーラムストリオ第3番他
	10/30(日)	トリオコンサート	岐阜 サラマンカホール	佐部利 弦(ピアノ)他	サン・サーンス 動物の謝肉祭他
	11/3(木) 14:00	MECコンサート	東京 オペラシティリサイタルホール	田中皇江(ピアノ)他	ピアソラ ル・グラン タンゴ他
	11/4(金) 19:00	小山実稚恵20周年記念コンサート	東京 サントリーホール	広上淳一(指揮)他	スクリャーピン 協奏曲他
☆	11/5(土) 18:00	リサイタル	長野 蓼科・華空間	水月恵美子(ピアノ)	リスト 悲しみのゴンドラ他
☆	11/12(土) 14:00	無伴奏リサイタル	東京 銀座山野楽器		パガニーニ 別れの奇想曲他
	11/14(月) 14:00	室内楽コンサート	鹿児島	高良仁美(ピアノ)他	ヴェータン アメリカの思い出他
☆	11/21(月)	室内楽コンサート	東京 住吉ウ・アイオリン幼稚園	フィリップ・ロジェ(Vla)他	
☆	11/22(火) 19:00	イヴリー・ギトリスと素晴らしい仲間たち	東京 浜離宮朝日ホール	まろ(VI)他	パガニーニ 別れ他
☆	11/25(金) 18:45	こんにちには四重奏団	大阪 センチュリークラブ	木野真美(ピアノ)他	小川 六甲風他
☆	11/28(月) 19:00	プロヴァンスの風	東京 大泉学園ゆめりあホール	フィリップ・クレマン(ヴァイオリン)他	フランチェスカッティ アリア他
	12/1(木) 19:00	日フィル第576回定期	東京 サントリー・ホール	館野泉(ピアノ)他	プロコフィエフ 3つのオレンジへの恋他
	12/2(金) 19:00				
☆	12/3(土) 18:00	シャガールのヴァイオリン	大阪 ザ・フェニックスホール	小川剛一郎(チェロ)他	エネスク 幼年時代の思い出他
	12/8(木) 19:00	日フィルコンサート	静岡 AOIホール	海老彰子(ピアノ)他	ベートーヴェン 運命他
	12/10(土) 18:30	日フィル 第九	栃木 宇都宮市文化	下野竜也(指揮)他	シューベルト ロザムンデ
	12/11(日) 13:00	木野雅之門下生発表会	東京 清瀬市民センター	木野真美(ピアノ)他	ピアソラ ル・グランタンゴ他
	12/17(土) 18:00		神奈川 横浜みなとみらいホール		
	12/18(日) 14:00		東京 サントリーホール		
	12/21(水) 19:00	日フィル第九コンサート	神奈川 横浜みなとみらいホール		ベートーヴェン 第九他
	12/22(木) 19:00		東京 芸術劇場		
	12/24(土) 14:00		東京 東京文化会館大	十東尚宏(指揮)他	
	12/25(日) 14:00				
☆	12/27(火) 19:00	日フィル特別演奏会	東京 芸術劇場		
☆	12/28(水) 19:00		東京 サントリーホール	沼尻竜典(指揮)他	バッハ オーボエとヴァイオリンのための協奏曲他
☆	12/29(木)	リサイタル	群馬 草津ホテルヴィレッジ	平澤匡朗(ピアノ)	ベートーヴェン 春他
☆	12/30(金)				
☆	1/21(土)	リサイタル	大阪 箕面		バッハ シャコンヌ他
☆	1/22(日) 12:00	まさゆき倶楽部新年会	東京 華空間		
	1/26(木) 19:00	日フィル第577回定期	東京 サントリー・ホール		マーラー 交響曲第3番
	1/27(金) 19:00				
☆	1/28(土) 16:00	ラスカニューイヤークンコンサート	神奈川 平塚市民センター	手塚幸紀(指揮)他	モーツァルト ヴァイオリン協奏曲第3番他
	1/29(日)	日フィル親子劇場	神奈川 川崎市教育文化	三河正典(指揮)他	ドヴォルザーク 新世界他
	1/31(火) 19:00	日フィル都民フェス	東京 芸術劇場	横山幸雄(ピアノ)他	ラヴェル ボレロ他
	2/11(土) 18:30		長崎 ブリックホール		ドヴォルザーク 新世界他
	2/12(日) 14:00		福岡 大牟田文化		
	2/13(月) 19:00		福岡 田川文化		ベートーヴェン 運命他
	2/14(火) 19:00		大分 iichikoグランシアタ		チャイコフスキー 悲愴他
	2/16(木) 19:00		宮崎 県立芸劇		ドヴォルザーク 新世界他
	2/17(金) 19:00	日フィル九州公演	鹿児島 県民文化	下野竜也(指揮)他	ベートーヴェン 運命他
	2/18(土) 14:00		熊本 県立芸劇		チャイコフスキー 悲愴他
	2/19(日) 14:00		福岡 北九州 厚生年金会館		ドヴォルザーク 新世界他
	2/21(火) 19:00		佐賀 唐津市民		
	2/22(水) 19:00		佐賀 佐賀市文化		
	2/23(木) 19:00		福岡 アクロス福岡		
	2/24(金)		山口 山口市民		
	2/28(火) 18:30	日フィルSuomiの響き	東京 イイノホール	新田ユリ(指揮)他	シベリウス 恋人たち他
	3/2(木)	室内楽コンサート	東京 大泉ゆめりあ	芳賀夏子(ヴァイオリン)他	チャイコフスキー フィレンツェの思い出他
☆	3/12(日) 15:00	無伴奏リサイタル	東京 華空間		バッハ無伴奏ソナタとバルティック全曲バグニーニ 25の奇奏曲
	3/16(木) 19:00	日フィル第578回定期	東京 サントリーホール	エルヴィン・ルカーチ(指揮)他	バルトーク 青髭公の城他
	3/17(金) 19:00				
☆	3/19(日) 15:00	無伴奏リサイタル	東京 華空間		バッハ無伴奏ソナタとバルティック全曲バグニーニ 25の奇奏曲
	3/26(日) 14:00	トリオミンストレル	東京 聖蹟桜ヶ丘集会所	北住淳(ピアノ)他	

参加者もふだんの競争心やストレスを忘れてたがいに学びあえる。宿泊・会場は、和田野の森にある清静しく快適な白馬ハイマウントホテル(夕食もフルコースでかなりリッチでした)。また、アンサンブルクラスの会場とコンサート会場となる白馬シエラリゾートアウゼおよびアウゼホールにも隣接し、しかも大自然と温泉付。今年のマスタークラス参加費は118,000円でした。もちろん、来年も開催されますのでお楽しみに。(弦楽ファン第2号より)

### トリオ・インストル

評者が聴いたのは2回目だが、ヴァイオリン木野雅之、チェロ小川剛一郎、ピアノ北住淳によるピアノ・トリオは、今回も余裕ある演奏を聴かせてくれた。とりわけ洒脱な音楽が性に合っているようで、前半最後、ピアソラの『ブエノスアイレスの夏』は秀逸。いかにも熟年のトリオらしく、各人が個性的な表現を繰り広げながら、その対話はエントテインメント性に満ちたもの。また、その前に演奏されたラロの「トリオ第一番」も品のよいロマンティシズムを掬い取った。

スマートで機知に溢れた音楽を奏する木野に対して、小川はしっかりと音



楽を語ろうとするのが、この二人の音の統一して

の北住のピアノ。と云って、堅実にトリオをまとめていくというのではなく、そのピアノは音色、テンポ、デュナーミクなど極めて柔軟性に富み山ヴァルチュオージテにも欠けていない。そんなトリオにして、ブラームスの3番は作品全体の寸法をいまだとらえかねているよう。終わりに向けて充実はしていったが。(10月10日・ザ・フェニックスホール) (網干 毅)

### 秋の琴科スペシヤル

十一月といえば琴科「華夷間」での木野雅之さんのコンサートの季節です。今年のコンサートは、11月5日に開かれました

と言っておられました。本場に、バラエティに富んだ難曲の数々をいとも易々と演奏しながら、けるつとしてお喋りをする雅之さんの姿に、改めて畏敬の念を覚えました。さて、コンサートの後は、これまた心のこもった素晴らしいディナーです。いつも、食事が終わりに近づくと頃になると、



びが溢れ出るような演奏に、会場は盛り上がり、やんやの喝采でした。ほんとうに、なんと楽しいコンサートでした。素晴らしい音楽と、食事、人々とのふれあいを心から堪能した、贅沢で、この上もない幸せなひと時でした。(井上千恵子)

### 作曲

雅之さんはナプキンで口を拭いながら立ち上がり、またヴァイオリンを取り上げて、私たちが喜ばせてくださるのです。それが今年、とりわけ楽しい、スペシヤルサブライズのほろ酔いコンサートでした。

サブライズとは、いつも、トリオ・ミンストレルで、雅之さん、ピアノの北住淳さんと息の合った素晴らしい演奏を聴かせてくださるチェリストの小川剛一郎さんが参加してくださったことです。この日のピアノリストの水月恵美子さんと組んだサブライズ・トリオでの演奏曲目は、ミンストレルのコンサートでお馴染みの、ピアノの「リベルタンゴ」「ブエノスアイレスの春」「八木節」、そしてなんと、大阪出身、阪神タイガースファンの小川さん主導の「六甲嵐」でした。音楽をすることの喜

真夏のことだった、雅之が幼稚園に上がる前に、ヘルニアの手術をしておこうとゆうことになった。荻窪病院に入院して手術が終わり、ベッドで横になって、点滴をしているところに私が入っていくと、普段元気な雅之がぼそい声で「パパ、お水がみたい」といった、その様子が、あまりにも弱々しく哀れな声で、私は何とかしてやりたいなと思つたが、水を飲んではいけないことになっていたので、気を紛らわすために口からでまかせにいろいろな話をした。話すことも思いつかなくなつたとき、音符のことでも話してやろうかと思つて、そのときカバンに持ち歩いてきた五線紙を取り出し、これは四分音符だ

晩秋の別荘地の夜。白樺やカラマツ林の黒々としたシルエツトの中に、明るく輝く瀟灑なガラスの建物が中華レストラン「華空間」です。ここに到着したとたんに、映画やテレビで見たことのある、ヨーロッパのサロンで催されるコンサートのお客にでもなつたような、わくわくと華やいた気分が満たされます。大きなアーチ型の木製の梁で支えられたガラス張りの大広間。大きな暖炉。あちこちで練り広げられる弾んだ声の挨拶とおしゃべり。やがてかすかな興奮と緊張の気配がさざ波のように広がってゆきます。さあ、コンサートの始まりです。

プログラムの第1部はまず、モーツァルトの「ヴァイオリンソナタ第3番」で始まりました。続いてプーランクの、じつにドラマチックな「ヴァイオリンソナタ(ガルシア・ロルカの思い出)」。3曲目はリストの「悲しみのゴンドラ」。柔らかくしなやかな、細かい細い糸が奏でるような美しい弦の音が消えてゆきます。外の深い闇のなかではらはらと散る白樺の黄葉が、室内の灯りに浮かびあがります。



第2部は最初にバルトークの「狂詩曲第1番」。次はストラヴィンスキーの「田園」。そしてシヨパンの、ピアノの黒鍵のための練習曲として有名な「練習曲10 第5番」をルツィエロ・リッチがヴァイオリン曲に編曲したもの。これは、雅之さんの師でもあるリッチ氏が、とてもむずかしくて自分では弾かなかった作品だったのだそうですが、雅之さんは、いったいどこがそんなにむずかしいのかといわんばかりの、いつものまったく平気な顔つきで、いつものように、ふつくとした指を自在に駆使してのみことな演奏でした。続いてはハイフェッツの編曲によるドビュッシーの、ため息のするような「美しい夕暮れ」。そして最後のヴェルタンの「アメリカの思い出」は「アルプス一万尺」：「...とわたしたちが歌う「ヤンキー・ドゥードゥル」を主旋律とした、うきうきと身体をゆすりたくなるような、軽快で楽しい曲でした。主催者が挨拶の中で、たまたまある専門家の方に「この日のプログラムを

よとか、これが休符とか書いて見せた。退院してから雅之が五線紙になにやらないで書き知っていたが、どうせいたがら書きださるうと思つて見ることなかつたが、あるときふと机の上に放り出してある五線紙に書かれたミミズのダンスのような音符を見て驚いた、四分の四拍子はちやんと一小節に四拍分入っているし四分の三拍子は三拍がどの小節にもきちんと入っているではないか、



このとき雅之の頭の中には四分音符も八分音符も符点音符も正しく認識されているなどと思つた。デパートなどに行つて帰つてくるとサツと五線紙を出して床の上に四つん這いになり、作曲が始まるのである、何やら頭の中がかなりコウフンしているのがわかつた。こんなことは小学校低学年までつづいたように思う。

このころ書いたものがダンボールいっぱいになつたが、今は押入れのどこにしまったか見当たらない。(木野慶三)

### 木野雅之の2週連続コンサート

第1週 平成18年3月12日(日)

15:00 開演

バッハ無伴奏ソナタ全曲  
パガニーニ奇想曲第1番～第12番

第2週 平成18年3月19日(日)

15:00 開演

バッハ無伴奏パルティータ全曲  
パガニーニ奇想曲第13番～第24番+  
第25番<別れの奇想曲>

ところ 東京 柿の木坂 華空間

料金 コンサート 3,000円

パーティ 3,500円

2週連続券 11,000円

~~~~~

聴きたい! 聴かせたい!  
こんな声に押されてまさゆき倶楽部の  
主催で実現します。  
みなさまのご協力を宜しく  
お願いします。  
まさゆき倶楽部 事務局 伊藤元子